

放射能に美しいふるさとを奪われた、あの日。
家族の幸福も、踏み砕かれた…

原発問題を考える なぜ原発映画を撮ったのか

映画上映&監督対談

The House of Rising Sun
太田隆文監督作品

朝日のあたる家

2016(平成28)年

開催日時

10月16日(日) ※受付14:00~
14:30~18:00

会場

龍谷大学響都ホール
(JR京都駅八条東口より徒歩約1分 アバンティ9階)

講師

太田隆文
(映画監督)



募集定員

350名

参加費

無料

申込方法

郵送・FAX・Web (<http://j-soken.jp>)にて申込

問合せ先

浄土真宗本願寺派総合研究所
〒600-8349 京都市下京区堺町92
TEL075-371-9244 FAX075-371-5761



講師プロフィール

太田隆文(映画監督)

1961年、奈良・誓興寺(浄土真宗本願寺派)住職太田信隆の長子として生まれる。南カルフォルニア大学・映画科に学ぶ。2006年、故郷和歌山県田辺市を舞台に青春ファンタジー映画「ストロベリーフィールズ」を監督。カンヌ映画祭でも上映。県から「きのくに芸術新人賞」受賞。2010年、浜松を舞台にした青春書道映画「青い青い空」を監督。地元でその年1番のヒット。ロサンゼルス映画祭でも上映。2015年は「幸せとは何か?」をテーマとした「向日葵の丘 1983年夏」(常盤貴子・主演)を監督。全国でヒット。いずれも原作のないオリジナル脚本を自ら執筆。地方の美しさを描いた映画。「毎回、涙が止まらない爽やかな感動作!」と多くの映画ファンが注目。大林宣彦監督が最も期待する映画作家の1人である。